

技術・家庭科授業構想

平成26年10月10日(金) 5校時 家庭科室
 2年4組(男子18名, 女子18名, 計36名)
 授業者: 教諭 日時 文

1 題材名 私や家族の生活を豊かにする工夫「布を用いた物の製作」

2 教材観

現代は様々な物があふれ、生活に必要な物を手軽に入手することができることから必要な物を自分で製作する機会は少ない。そこで、実際に製作することで、物の成り立ちや仕組みを知り、それに関わる技術の素晴らしさや先人の知恵などに気づかせたい。その中で物を大切にする心や成就感を育むことと、より快適に豊かに自分の生活を変えていこうとする態度や技術を身につけさせたい。

3 生徒の実態

衣服について、「既製服」という言葉や意味も知らない生徒が多い等、最近まで家庭でも製作されていた物であるという認識に欠けている。また、衣服は安価で手軽に入手できるもの、使い捨てに近い感覚の物と捉え、製作等面倒なことは時間と労力の無駄と考える生徒も多い。小学校で学んだ基礎的基本的な学習内容を発展させ、活用工夫させたい。

4 本時について

(1) 本時の学習 体をおおう物「ショートパンツ」

(2) 本時のねらい

- ①また上の縫い方や丈夫に縫うことの意味がわかる。【生活や技術についての知識・理解】
- ②また上を丈夫に縫うことができる。【生活の技能】

(3) 本時における「わかる生徒の姿」

本時の学習課題を理解し、また上をしるし通りに縫う。丈夫にするために二度縫いすることを教え合いながら、縫うことができる。

(4) 展開構想 ○→主な学習活動 ・→(予想される)生徒の反応 ①, ②→評価場面

学びのステップ	学習内容と予想される生徒の反応	指導上の留意点	かかわり方の形態
導入	○前時までの進行状況の確認	遅れている生徒への配慮	班・ペア
学習課題 また上をしるし通り、丈夫に縫おう。			
第1ステップ	○手順・縫い方の確認	実際に縫い方の手順を示し確認する。	全体
第2ステップ	○手順にそって縫う。 ・まち針をうつ。 ・ミシンで縫う。 ・二度縫いをする。	ミシンをペアで使用。 班内で遅れている生徒に教え合う。 ①②チェックシート	班・ペア
ラストステップ	○後片付け ○自己評価 ○次時の予告	本時の自己評価と感想を記入させる。 ①②自己評価カード	個人 全体